



りんりんに会いに行ってきました。

4月の始め“りんりん”という架空の人？もの？動物？からちょう組に「ともだちになりたい」と突然届いた手紙。その日から、何通もの手紙のやりとりを通じて“りんりん”の住んでいる“もりりんやま”に遊びに行くことになりました。その中で“もりりんやま”は遠いところにある…帰りが遅くなる…じゃあ、みんなで保育園に泊まったらどうか、と始まったお泊りの計画。お家の人に泊まってもいいのかと自分で聞いたり、山にはどうやって行くのか、晩ご飯や朝ご飯はどうするのか等々、子どもたちはたくさん話し合いをしながら、自分たちで計画を立てました。始めは泊まる事に不安に感じていた子も少しずつ、もしかしたら、楽しいかも…と気持ちに変化がみられるようになりました。

当日は、3年ぶりの快晴。バスの運転手さんに地図を確認してもらい、いざ出発。山では「おーい、りんりん」とりんりん探しを意識しながら山登りを楽しみ、休憩を挟んで川遊びも経験。自然の空気をたっぷりと感じながら思いきり遊んでできました。夜になると不安に感じていた子もいましたが、安心できる担任のもと、眠りにつき朝を迎えました。



家族と離れて友だちと過ごす経験は楽しみではありますが、同時に不安を伴います。“不安だけど、がんばってみたい”と心の葛藤を抱えながらその思いを出せる事、そしてその葛藤を理解してくれているという安心感を満たしていくことで、子どもは自立に向けた力を育んでいきます。気持ちが揺れ動く時だからこそ丁寧な寄り添いや対話の経験が大切になります。お家の人に思いをたくさん聞いてもらい“楽しんでおいで”と送り出された子どもたち。活動の最後に、家族からの愛情たっぷりの手紙を読んでいた時の子どもたちの笑顔は何とも誇らしげで、自信に満ち溢れていました。気持ちが十分満たされるということは生きていくすべての原動力になることを改めて感じました。

親子ひろばの給食試食体験始まりました！

毎回恒例の親子ひろばの離乳食教室。今年度は新たに給食試食体験も取り入れ、先日第一回目が行われました。参加者は2名でしたが、とても良い感想を頂きました。親子ひろばの取り組みをきっかけに、地域の皆さんがくすのき保育園に足を運んでくれ、子どもたちが伸び伸びと遊んでいる様子を知ってもらえるといいなと思います。